

### 第3回スマートシティ伊勢推進構想策定委員会 議事概要

- 1 日 時 令和5年10月25日(水) 19時00分～20時15分
- 2 場 所 伊勢市役所 本庁舎 東館5階 5-4 会議室
- 3 出席者 別紙座席表のとおり
- 4 協議事項 下記のとおり

#### ○ アンケート結果・ワークショップ結果報告について

委員:伊勢市公式 LINE の友だち登録者のうち、主婦層などが何人いて、そのうち何人から回答があったか分かると良い。

事務局:クロス集計まで今日の時点で出せばよかったが、そこまで出来ていない状況。出来次第、こちらは共有する。

委員:今回のアンケートでは、学生やその他サービス業の方の回答が多かったが、満遍なく回答してもらえらるほうが良い。

委員:他の地域のアンケートの比較から、伊勢市の特徴を出せると良い。

事務局:他地域のアンケート結果と比較して、特徴があれば検討してみるが、調べた限りでは。スマートシティの認知度などほとんど差がない。

委員:今回のアンケートは社会の現状をストレートに反映していないと思われる。実際の社会における認知度はさらに低いと考えられる。

#### 【検討事項】

- ・ アンケートのクロス集計
- ・ 他市町のアンケート調査と分析

#### 2. スマートシティ伊勢推進構想について

委員:方向性と事例との関係性が分かりにくい。

事務局:一つの取り組み例が、必ず一つの方向性だけに関わるものというわけではなく、他のところにも繋がる取組でもあるので、あえて線引きをして直結にはしていない。

委員:取組の事例が表いっばいに記載されている項目と、隙間がある項目で差がある。力の入れ具合が違いうように捉えられてしまう。取組の事例は必ずしもこれからやるものではないという認識でよいか。

事務局:その通り。

委員:では、「事例」ではなく、「例」で記載。

事務局:承知した、変更する。

委員:アンケートで出てきた意見、ワークショップで出てきた意見が分かるようにマークで示す、色を付けるなど工夫をすると良い。

事務局:検討する。

委員:取組の事例として記載してあるもの全てを行うわけではないので、意味づけを記載したほうが良い。

事務局:追記する。

委員:⑤の目指す姿の「見本になれる市役所」の表記が、上下関係があるように思える。

事務局:行政サービスなどの違う書き方に変える。

委員:②(2)防災や災害等のワードを入れたほうが分かりやすい。

事務局:そのように変更する。

委員:この内容を公開するのであれば、形になったことが分かるようにするとアンケートやワークショップに参加した人がうれしい。また、せっかく作った構想なので、この後どのようにしていくか、周知の仕方なども考えてもらいたい。

事務局:上であったように、マークをつけるなど検討する。また、周知の方法も考えていく。

委員:②(2)の「無人化」という表記を変更する。

事務局:承知した。

#### 【検討事項】

- ・ 方向性、事例の表記変更
- ・ 意味づけの記載
- ・ 「見本になれる市役所」の表記変更
- ・ 「無人化」の表記変更(ITによる営業時間の延長等)